

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-才	保健衛生の推進	施策	⑦ 動物愛護の推進
			施策の小項目名	—
主な取組	動物適正飼養の推進			
対応する主な課題	⑨広く県民の間に動物愛護思想を普及し、動物の適正飼養及び管理に関する知識やモラルの向上を図っていく必要がある。また、犬の飼い主をはじめ、広く県民に対して狂犬病予防に関する普及啓発を強化していく必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
動物愛護思想を普及し、動物の適正飼養、管理（飼い主の責任等）に関する知識やモラルの向上を図るための動物愛護及び狂犬病対策に係る啓発を行う。		動物愛護及び狂犬病対策に係る啓発				
		成犬譲渡促進				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課/保健医療部衛生薬務課 【098-866-2243/098-866-2055】					
					動物収容・譲渡施設改修設計	動物収容・譲渡施設改修工事

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 動物適正飼養推進事業費							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
									県単等	直接実施
予算事業名 —							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
									—	—

様式1(主な取組)

活動指標名	動物愛護及び狂犬病対策に係る啓発				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
	—	—	—	啓発活動の実施	啓発活動の実施	啓発活動の実施	90.0%	19,968	順調	飼い犬猫の安易な引取り拒否や、收容された犬・猫の新たな飼い主への譲渡活動の強化等、動物愛護管理センターHPを通して広報を強化した。		
活動指標名	成犬譲渡促進				R元年度					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	—	—	—					
	—	—	—	成犬譲渡促進	成犬譲渡促進	成犬譲渡促進	90.0%	19,968	順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 動物愛護及び狂犬病対策に係る啓発や成犬譲渡促進について、概ね計画通りに実施できたことから順調となった。犬・猫の合計收容頭数は減少傾向（犬・猫の收容頭数の推移（狂犬病予防法による犬の捕獲頭数を含む）H27年度：4,392頭、H28年度：2,956頭、H29年度：3,027頭、平成30年度：2,563頭）である。		
活動指標名	—				R元年度					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	—	—	—					
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和元年度の取組改善案						反映状況						
<ul style="list-style-type: none"> 譲渡対象の犬に対するワクチン接種の拡大を図る。 						<ul style="list-style-type: none"> 動物愛護管理センターに收容される犬について、ワクチン接種可能な犬については原則全頭ワクチン接種を行った。 						



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・動物の引取施設 (動物愛護管理センター等) には収容限界がある。

○外部環境の変化

- ・動物の愛護及び管理に関する法律が改正された。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・改正法を踏まえた犬猫の適正飼養の啓発の強化

4 取組の改善案 (Action)

- ・改正法の周知、啓発を実施する。